

第一歩の話である。つけ加へて冬至の日の家庭に於ける行

事も話さう。

手 技

第十三週

自由畫 羽子板 二回

ボール紙製羽子板、或は普通の羽子板に、幼児に自由に模様をかゝせる。

鈇仕事 羽子板 一回

色模造紙を數種用意して、各兒に羽子板の形、その模様をかゝせ、切りぬきてはる。

ぬりゑ モヨウ 一回

製作 紙箱の家

誘導保育案による箱の家製作

各兒の家庭よりボールの空箱をもつてきてもらふ、一人二人ミ持參せるものより家をつくりはじめる。

始めに先づ何店をつくるかを決めさせる。看板、店の棚なきつくる。次に商品をつくる。空箱の種類は何でもよ

いのであるがあまり淺いものは立てる事が出来ないのので下駄の箱位が最も適當なものである。

第十四週

自由畫 新年用繪ハガキ、羽子板 四回

畫用紙をハガキ大の大きさに切り一人の幼兒に數枚つゝの割にかゝせる。新年のものといふ注文ではあるが幼兒には新年の感の割合に強くないので結局自分の好きなものをかく事になるのである。かけたものはお友達や親類の人にあげるやうに各幼兒の家庭にもつてかへさせる。

製作 箱の家つゞき

順次箱をもつて來た幼兒から作りはじめる。作つてゐるものはつゞきをつくらせる。

第十五週

製作 箱の家

箱の家をはじめてから三週間、簡單ながら各自の思ひ思ひのさゝやかな店が出来上りました。机の上に順々店をならべて一つの町が出来上ります。店の前を走る電車

や自動車なども出来れば喜ぶでせうし、先生の方でそれをつくつてやつてもよい。

年長組 第二保育期

—— 満五歳、満六歳 ——

生活訓練

第二保育期も年末が近づいて来るに、世間並みに忙しくなつて、生活訓練でいいふのか、ずつと空欄になつてゐる。幼稚園には暮も師走もない。そんなに慌しいことはいはない筈だといはれるか。それもそうだし、或は、來年の小学校入學が近づいて来て、それで訓練でなくなつてゐるのか。年長組だといつて見れば、或はそんな

ここかとも思はれたりする。

と思つて、次の頁をあけて見るに、第三保育期の一月早早い頃の訓練が始められてゐる。して見るに小学校入學の準備のために、十二月一ぱい訓練休業といふ譯ではなかつたことが分つた。

それなら何故こんなに空欄つゞきになつてゐるのかしら